

佐藤安弘 (Yasuhiro Sato)

国際学会・シンポジウム発表 (International presentation)

1. Kuzuhara H, Takimoto H, Sato Y, Kanagawa A. 「Insect pest detection and identification method based on deep learning for realizing a pest control system」. The SICE 2020 Annual Conference, Sept. 23-26, 2020. Chiang Mai, Thailand [changed into online meeting]
2. Sato Y, Shimizu-Inatsugi R, Yamazaki M, Nagano AJ, Shimizu KK. 「Field GWAS of neighbor effects and its potential application to targeted polycultures in anti-herbivore defense」. 『URPP Global Change and Biodiversity Conference』, P15, Monte Verita, Ascona, Switzerland (June-July 2019) (ポスター・査読なし)
3. Sato Y. 「Using personal legacy data to reveal the molting phenology of Japanese cicadas」. 『The 8th EAFES International Congress』, S19: Ongoing cicada research in East Asia (organized by Prof. J. Yikweon), Nagoya, Japan (April 2018) (口頭・招待講演)
4. Sato Y, Ito K, Kudoh H. 「Associational effects and the maintenance of trichome dimorphism in a wild *Arabidopsis*」. 『The 2017 Congress of the European Society for Evolutionary Biology』, S32-P08, Groningen, Netherland (24 August 2017) (ポスター・査読あり)
5. Sato Y, Ito K. 「Modeling the effects of optimal foraging herbivores on the maintenance of trichome dimorphism in a wild *Arabidopsis* population」. 『URPP Global Change and Biodiversity Conference』, P28, Monte Verita, Ascona, Switzerland (August-September 2016) (ポスター・査読なし)
6. Sato Y, Kudoh H. 「Associational antiherbivore defense promotes the coexistence of hairy and glabrous plants」. 『100th Annual Meeting of Ecological Society of America』, PS30-98, Baltimore, MD, USA (August 2015) (ポスター・査読あり)
7. Sato Y, Kudoh H. 「Associational anti-herbivore defence and the maintenance of hairy and glabrous plants in *Arabidopsis halleri* subsp. *gemmaifera*」. 『Bristol-Kyoto Plant Sciences Workshop』, P-14, Bristol, UK (September 2014) (ポスター・査読なし)
8. Sato Y, Kudoh H. 「Factors responsible for plant resistance to a shared herbivore: a meta-analysis of herbivore responses between choice and no-choice conditions」. 『International Symposium for "Biodiversity & Evolution" project of Excellent Graduate Schools』, P-03, Kyoto, Japan (December 2013) (ポスター・査読なし)
9. Sato Y, Kawagoe T, Kudoh H. 「A test for frequency dependent herbivory on two trichome morphs of *Arabidopsis halleri*」. 『The 5th EAFES International Congress』, P2-147A, Otsu, Japan (March 2012) (ポスター・査読なし)

国内学会・シンポジウム発表

1. 佐藤安弘、武田和也、永野惇. 「近傍個体を考慮した QTL 解析の開発と虫害への応用」. 『第 68 回日本生態学会大会』, P2-036, 岡山 (オンライン), 2021 年 3 月 (ポスター・査読なし)
2. Sato Y, Yamamoto E, Shimizu KK, Nagano AJ. 「Neighbor GWAS: incorporating neighbor genotypic

identity into genome-wide association studies of field herbivory on *Arabidopsis thaliana*』、『第 61 回日本植物生理学会年会』、PF-192、大阪、2020 年 3 月（ポスター・査読なし）

3. Sato Y, Yamamoto E, Shimizu KK, Nagano AJ. 「Neighbor GWAS: incorporating neighbor genotypic identity into genome-wide association studies of simulated traits and field herbivory」、『第 67 回日本生態学会大会』、P2-PA-066、名古屋、2020 年 3 月（ポスター・査読なし）
4. 佐藤安弘、山本英司、清水健太郎、永野惇. 「近傍個体を考慮した GWAS の開発と虫害への適用」. 『第 5 回農学中手の会研究集会』、滋賀、2019 年 12 月（主催者：内藤健）
5. 佐藤安弘、村中智明. 「使ってみよう先端技術！-オミクス解析と形質測定で迫る植物の生き様」. 『第 51 回種生物学シンポジウム』、宮崎、2019 年 12 月（シンポジウム企画者）
6. 葛原宏章、滝本裕則、佐藤安弘、金川明弘. 「動画像からの病害虫の検出・識別に関する検討」、『第 21 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム』、岡山、2019 年 11 月（ポスター・査読あり）
7. 佐藤安弘、清水(稲継)理恵、山崎美紗子、清水健太郎、永野惇. 「Genomic basis of neighbor effects in *Arabidopsis* defense against insect herbivores」、『日本進化学会第 21 回大会』、S03 企画シンポジウム：オミクスから見た表現型多型・頑健性と倍数体種分化-進化学・生態学・育種学の統合を目指して、北海道、2019 年 8 月（招待講演、企画者：清水健太郎）
8. 佐藤安弘、清水(稲継)理恵、山崎美紗子、清水健太郎、永野惇. 「植物個体間の相互作用を考慮した虫害の全ゲノム関連解析」、『第 66 回日本生態学会大会』、B2-02、神戸、2019 年 3 月（口頭・査読なし）
9. Sato Y, Shimizu-Inatsugi R, Yamazaki M, Shimizu KK, Nagano AJ. 「Incorporating neighbor identity into a genome-wide association mapping of insect herbivory」、『第 60 回日本植物生理学会年会』、1aO10、名古屋、2019 年 3 月（口頭・査読なし）
10. 佐藤安弘、清水(稲継)理恵、山崎美紗子、清水健太郎、永野惇. 「植物防御の連合効果を考慮したゲノムワイド関連解析」、『第 50 回種生物学シンポジウム』、A-4、八王子、2018 年 12 月（ポスター・査読なし）
11. 佐藤安弘、清水(稲継)理恵、山崎美紗子、清水健太郎、永野惇. 「ゲノムワイド関連解析を応用した混植効果の推定と虫害予測」、『予測モデリングとその周辺 -機械学習・統計科学・情報理論からのアプローチ-』、成蹊大学、2018 年 11 月（招待講演、企画者：小森理・深谷肇一）
12. 葛原宏章、滝本裕則、佐藤安弘、金川明弘. 「深層学習に基づく動画像からの病害虫の検出」、『第 20 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム』、鳥取、2018 年 11 月（ポスター・査読あり）
13. 佐藤安弘. 「植物のゲノム多型を用いた遺伝子型間相互作用の推定と虫害予測」、『第 34 回個体群生態学会』、S1-03 企画シンポジウム：種多様性と遺伝的多様性の対比からみる多様性-機能関係、東京、2018 年 10 月（招待講演、企画者：高橋佑磨・村上正志）
14. 佐藤安弘、滝本裕則. 「アブラナ科植物を食害する微小昆虫の野外調査と動画像計測の試み」、『平成 30 年 電気学会 電子・情報・システム部門大会』、MC：農学・植物科学研究における計測技術、札幌、2018 年 9 月（招待講演、企画者：七夕高也・磯部祥子）
15. Sato Y, Tezuka A, Kashima M, Deguchi A, Shimizu-Inatsugi R, Yamazaki M, Shimizu KK, Nagano AJ. 「Field transcriptome reveals natural variation in constitutive and inducible responses to insect herbivory on *Arabidopsis thaliana*」、『第 59 回日本植物生理学会年会』、P393、札幌、2018 年 3 月

(ポスター・査読なし)

16. 橋本洸哉、中臺亮介、岩崎貴也、佐藤安弘. 「寄主植物の共有が日本列島に分布する蝶類の共起パターンに与える影響」、『第 65 回日本生態学会大会』、P1-087、札幌、2018 年 3 月 (ポスター・査読なし) (ポスター・賞受賞)
17. 佐藤安弘、伊藤公一、工藤洋. 「植食者の最適採餌からみたハクサンハタザオのトライコーン多型の維持」、『第 65 回日本生態学会大会』、D02-06、札幌、2018 年 3 月 (口頭・査読なし)
18. 佐藤安弘、手塚あゆみ、鹿島誠、出口亜由美、清水(稲継)理恵、山崎美紗子、清水健太郎、永野惇. 「野外栽培したシロイヌナズナの遺伝子発現からみた食害応答の恒常性と可塑性」、『第 49 回種生物学シンポジウム』、B-37、福井、2017 年 12 月 (ポスター・査読なし)
19. Sato Y, Shimizu-Inatsugi R, Yamazaki M, Shimizu KK, Nagano AJ. 「Quantifying the variability of insect communities among *Arabidopsis thaliana* genotypes: tests for the effects of trichomes and glucosinolates」、『第 64 回日本生態学会大会』、P2-I-275、東京、2017 年 3 月 (ポスター・査読なし)
20. 佐藤安弘. 「微細な変異から紐解くシロイヌナズナ属植物の対被食防御」、『第 48 回種生物学シンポジウム』、北海道、2016 年 12 月 (口頭・受賞講演)
21. 佐藤安弘、伊藤公一、工藤洋. 「植食者の最適採餌からみたハクサンハタザオのトライコーン二型の維持」、『第 48 回種生物学シンポジウム』、B-6、北海道、2016 年 12 月 (ポスター・査読なし)
22. 佐藤安弘、工藤洋. 「植食者を介した頻度依存選択がハクサンハタザオの細毛多型の維持を促す」、『第 63 回日本生態学会大会』、D2-10、仙台、2016 年 3 月 (口頭・査読なし)
23. 佐藤安弘、工藤洋. 「複数植食者からなる食害傾度に応じたトライコーン二型の地理的変異」、『第 47 回種生物学シンポジウム』、P44、岐阜、2015 年 12 月 (ポスター・査読なし)
24. Sato Y, Kudoh H. 「Herbivore-mediated interaction promotes the local coexistence of trichome dimorphism in a plant population」、『第 31 回個体群生態学会大会』、P43、彦根、2015 年 10 月 (ポスター・査読なし)
25. 佐藤安弘. 「被食防御の連合効果がハクサンハタザオにおける細毛二型の存続性に与える影響」、『進化群集生態学シンポジウム 2015』、京都、2015 年 9 月 (招待講演, 企画者: 門脇浩明・金尾太輔)
26. 佐藤安弘、工藤洋. 「被食防御の連合効果がハクサンハタザオのトリコーン多型を維持する」、『第 62 回日本生態学会大会』、PA1-113、鹿児島、2015 年 3 月 (ポスター・査読なし)
27. 坂田ゆず、佐藤安弘. 「植物と植食性昆虫の相互作用が生み出す進化・生態現象を俯瞰する」、『第 62 回日本生態学会大会』、W12、鹿児島、2015 年 3 月 (集会企画) -> [W12-3] 佐藤安弘. 「被食防御の連合効果がもたらす多型の維持: ハクサンハタザオの細毛を例に」
28. 佐藤安弘、工藤洋. 「被食防御の連合効果がもたらすハクサンハタザオのトリコーン多型の維持」、『日本生態学会近畿地区第 2 回例会』、発表(2)、大阪、2014 年 12 月 (口頭・査読なし)
29. Sato Y, Kudoh H. 「The presence of substitute diets alters plant resistance to a shared herbivore: a meta-analysis of herbivore responses under choice and no-choice conditions」、『第 61 回日本生態学会大会』、G0-05、広島、2014 年 3 月 (英語口頭・査読なし)
30. 佐藤安弘、工藤洋. 「となりの餌の存在が植物の植食者に対する抵抗性を変える: メタ解析による

餌選択実験の結果の統合」、『第 45 回種生物学シンポジウム』、P-20、別府、2013 年 12 月（ポスター・査読なし）

31. 佐藤安弘、川越哲博、工藤洋. 「ハクサンハタザオの有毛型と無毛型に対する食害の頻度依存性」、『第 60 回日本生態学会大会』、P1-121、静岡、2013 年 3 月（ポスター・査読なし）
32. 佐藤安弘、川越哲博、工藤洋. 「ハクサンハタザオの有毛型と無毛型に対するハムシの頻度依存餌選択」、『第 44 回種生物学学会シンポジウム』、P3、滋賀マキノ、2012 年 12 月（ポスター・査読なし）
33. 佐藤安弘、川越哲博、工藤洋. 「有毛型・無毛型の頻度がハクサンハタザオの被食防衛効果を変える」、『第 28 回個体群生態学会大会』、P02、千葉、2012 年 10 月（ポスター・査読なし）
34. 佐藤安弘、高倉耕一、西田隆義. 「近縁外来種の存在がホトケノザの閉鎖花率に与える影響」、『第 26 回個体群生態学会大会』、P2-10、横浜、2010 年 9 月（ポスター・査読なし）
35. 佐藤安弘、高倉耕一、西田佐知子、西田隆義. 「近縁外来種との共存がホトケノザの閉鎖花に与える影響」、『第 42 回種生物学シンポジウム』、P-16、京都、2010 年 12 月（ポスター・査読なし）

外部セミナーなど

1. Sato Y. 「Neighbor GWAS: incorporating neighbor identity into *Arabidopsis*-herbivore interaction」. Gregor Mendel Institute of Molecular Plant Biology, Austria (June 2019) (host: Dr. Magnus Nordborg)
2. 佐藤安弘. 「Ecological genomics of neighbor effects in *Arabidopsis* defense against insect herbivores(シロイヌナズナ野生系統を用いた虫害防御の生態ゲノミクス：近傍個体に着目して)」、奈良先端科学技術大学院大学、2019 年 2 月（世話人：晝間敬助教）
3. 佐藤安弘. 「周りの植物が防御効果を変える：アブラナ科植物における多型の維持から虫害制御へ」、『昆虫生態学格致セミナー』、京都大学農学部、2018 年 9 月（世話人：松浦健二教授）
4. Sato Y. 「Neighbor effects enhance anti-herbivore defense in *Arabidopsis*」. URPP GCB seminar, University of Zurich, Switzerland (August 2018)
5. 佐藤安弘. 「混植によって改変されるシロイヌナズナ属植物と植食者の関係：多型の維持から虫害制御へ」、『森林生物特別セミナー』、京都大学農学部、2018 年 1 月（世話人：井鷲裕司教授）
6. 佐藤安弘. 「アブラナ科植物における防御多型の維持から虫害制御へ向けて」、『龍谷エコロジーセミナー』、龍谷大学理工学部、2017 年 11 月（世話人：近藤倫生教授）

その他

1. 進化群集生態学シンポジウム 2018 ディスカッション・パネリスト. 京都、2018 年 9 月（企画者：門脇浩明・三木健）
2. Organizing committee member of “5th Japan-Taiwan Ecology Workshop”, Kyoto, Japan (November, 2016) [<https://sites.google.com/site/jtecolw5th/>]